

令和 4 年第 14 回
西条市教育委員会 12 月定例会会議録

西条市教育委員会

令和4年第14回西条市教育委員会 12月定例会会議録

1 開会及び閉会

開 会 11月22日(火) 午後3時30分
閉 会 同 日 午後4時00分

2 出席及び欠席

出席者 教育長 伊藤隆志
教育長職務代理者 福田亜弓
委 員 磯 恒子
委 員 鳳 慶洲
委 員 一色一成

3 会議に出席(欠席)した者

事務局長 三好昭彦
教育指導監 松本卓也
副局長兼教育総務課長 串部佳隆
教育総務課主幹 村上彰彦
学校教育課長 戸田章裕
学校教育課指導主幹 黒河幸彦
学校教育課指導主幹 内田賢一郎
社会教育課長 前谷浩教
人権擁護課長 安倍和紀
西条図書館長 越智秀樹
教育総務係長 青野洋士

4 会議録署名委員

1 番委員 福田亜弓
2 番委員 磯 恒子

5 議 案 議案第17号 令和4年度12月補正予算要求について

6 傍 聴 者 1名(一般)

7 議事の概要

伊藤教育長 ・ただ今から、令和4年第14回教育委員会12月定例会を開催する。

伊藤教育長 ・本日の会議録署名委員に福田委員と磯委員を指名する。
・日程第3 教育長の報告に入り、事務局長に報告を求める。

三好事務局長 ・教育長の事業、実施 14 件、予定 16 件等について報告する。

伊藤教育長 ・この報告について質問等ないか問う。

鳳委員 ・11 月 3 日の西条市 P T A 連合会親子ふれあい交流体験学習会を見学させていただいたが、250 人の定員で 1,000 人近くの応募があったということで、大変好評であると思った。ここ数年コロナ禍での開催であったが、参加者の心構えや運営の仕方も工夫されており、年々良くなっていると感じた。また、この体験後に各家族等で再度このフォレストアドベンチャーを訪れている方が沢山おられるという話を聞き、絶好の親子交流の機会であり、地域の施設を利用するいい機会になったと思う。そのようなことで、ご報告だけさせていただく。

磯委員 ・先日行われた中学校と小学校の音楽フェスティバルを見せていただいた。中学校の方は裏方や準備がとても忙しいのだが、そんな中で今回は 2 人の教員がお休みしたなかで行われた。それでも色々協力し合い、他の学校の生徒の指揮をするだとか苦労しながらも開催できたことを嬉しく思う。他の先生の指揮でありながらもあのステージ立てたという、生徒の満足そうな顔を見てすごく嬉しくなったので、行事は大事にしてほしいと思う。小学校の方は、今まで機会がなかったが今回初めて西部の方を見せてもらった。びっくりしたのは、小さな学校が生き生きと色々な工夫をしながら、すごくいい演奏をしていたことである。あとで聞かせていただいたのだが、協力し合いながら放課後も少しずつ練習をしたということで、その結果がああ素晴らしい子供たちの表情だということで、嬉しくなった。

一色委員 ・私も音楽フェスティバルの件で、仕組みや中身の話をさせていただく。保護者から話を多数聞いているが、総合文化会館で実施した際に保護者の方が入りきらなかったのではないかと話をいただいている。生徒が発表できる場所が必要であるが、聴く方がいて初めて発表が完結するのではないかと思う。会場のキャパの問題もあると思うが、今の時代であれば小ホールやエントランス等でパブリックビューイングのような形も可能なのではないかと思い、当日入っていた業者に聞いてみたところ、そういったことは可能との話はされていた。備わっている機器等も古くなっているものもありながら、更新していくことでそのあたりは解決するのではないかという話も伺っているので、またそういった場を設けて詰めて頂くと皆にとって良くなるのではないかと思った。

- 福田教育長職務代理者 ・私も小学校の音楽フェスティバルを見させていただいた。子どもたちがステージで一生懸命演奏しているその裏には練習の積み重ねの成果が出ているのではないかと感じており、先生方には感謝申し上げたい。私も保護者から感想をいただいたので共有したい。ステージで仲間とともに演奏やパフォーマンスができるという機会を与えてくださったことに感謝をしたい。子どもたちの達成感や感動が、同じ場にいることによって感じることができたため、こういった機会というのは大切であると感じた、という感想であった。これは学校の生活にも言えることであると思うが、一人ひとりが豊かに生きるために子どもたちの能力を最大限に発揮できるように子どもたちの可能性を信じて歩いていく授業作り、そういったことを先生方で共有しながら西条市の教育の在り方というのを構築していただけたらありがたいと感じた。今後も継続してほしいと思うような、素晴らしい音楽フェスティバルであった。
- ・1月の8日に行われる二十歳の集いについての質問であるが、例年コロナウイルスの感染対策で保護者の2階での観覧を断り続けているが、今回はどのような形態の予定か。
- 前谷社会教育課長 ・県外からの往来があるということであるので、今回も保護者の観覧席は設けないで実施したいと考えている。
- 礮委員 ・ミュージカルの「ジョン マイ ラブ」が上演されているが、西条市出身の伊藤碧が出演しているのをご存じでしょうか。西条小、西条北中、西条高校の卒業生であるが、大学進学後、オーディションに受かり、現在は半年間休学して出演することになった。西条市で行われたミュージカルの「キクと信二の物語」に中学生の頃に出て、虜になったことがきっかけである。そういう若い子たちが活躍していることを市民の方に知ってほしい。ぜひ宣伝やアピールができれば嬉しく思う。
- 福田教育長職務代理者 ・修学旅行での対応について教えていただきたいのだが、修学旅行中はいわば保護者の方から子どもを預かって旅行に出かけるのであるが、例えば1日無事に終わったことを保護者へ伝えるといった、連絡のマニュアルはあるか。
- 黒河学校教育課指導主幹 ・マニュアルというわけではないが、ホームページに随時掲載する、そしてマチコミメールで連絡が入るようになっている。

- 福田教育長職務代理者 ・中には心配する保護者もいるので、1泊以上出かける場合はホームページやマチコミメールで知らせていただくようお願いしたい。
- 礮委員 ・先ほどのミュージカルの話に近いが、イタリアで活躍して毎年東京で公演している西条市出身の後田翔平についても、市民に知らせてほしい。西条市では演奏をする機会が無いため、母校の飯岡小や西条東中で演奏するなど、何か知っていただく方法がないかと思っている。12月にはこちらへ帰ってきて演奏するが、そういう時に生徒の前で何かできればと思う。
- 伊藤教育長 ・ほかに意見等ないか問う。
- 伊藤教育長 (意見なし)
- ・続いて日程第4 議案に入る
・議案第17号「令和4年度12月補正予算要求について」を議案とする。事務局より説明を求める。
- 議案第17号「令和4年度12月補正予算要求」について
(※串部副局長兼教育総務課長説明)
- 伊藤教育長 ・この報告について質問等ないか問う。
- 鳳委員 ・佐伯記念館の予算がマイナスになっているが、これは職員が辞められたということか。
- 前谷社会教育課長 ・昨年度までは会計年度任用職員が配置されていたが、今年度より再任用職員が配置されることになったので、その分の減額ということになっている。
- 伊藤教育長 ・ほかに意見等ないか問う。
- (意見なし)
- 伊藤教育長 ・意見がないようなので採決してよいか問う。
- (異議なしの声)
- 伊藤教育長 ・議案第17号「令和4年度12月補正予算要求について」に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

- 伊藤教育長
- ・議案第 17 号について、原案通り決することとする。
 - ・続いて日程第 5 その他に入る。報告事項がないため、委員より意見がないか問う。
- 一色委員
- ・2 点伺いたい。1 点目は社会教育課に伺いたい。西条市には文化会館が 2 つあるが、使用の評価の基準はあるか。また、毎回どういう風に利用しているかということが耳に入ることはあるのか。
- 前谷社会教育課長
- ・両施設については平成 18 年 9 月 1 日から民間企業の持つノウハウでより質の高い文化振興を低コストで行うことができるため、指定管理者制度を導入している。現在はアクティオ株式会社が受けている。令和 2 年度で 4 期目が終了して令和 3 年度より 5 期目となっている。各事業については指定管理の方で自主事業ということで色々な事業をしている。その中で一部市の方でも音楽関係の委託事業を出している。年の事業が終われば市に報告をしてもらって、その指定管理の事業の検証を年に 1 回ずつしているところである。
- 一色委員
- ・指定管理業者のアクティオさんではなく、例えば主催者の声を吸い上げる仕組みはあるのか。
- 前谷社会教育課長
- ・全てではないが、事業が終わったら今後の事業の参考のためにアンケートを取ったりして一部吸い上げている。
- 一色委員
- ・前回の指定管理の更新がコロナ禍と言われる最中であって、その時の資料を見させていただいたが、この評価基準というのがどの範囲の人たちの声を吸い上げて作られたものなのかということが気になったのと、書かれている内容と私の耳に入る内容に差異があるので質問させていただいた。要は使いにくいという話がある。総合文化会館であれば、入って右側に以前は飲食店が営業していたスペースがあるが現在は営業していない。主催者が出演者などに配慮して飲食店やケータリングを入れたりしようとした時に、やれない範囲が結構あるとのこと。そのあたりの判断基準はアクティオさん側にあると思うが、アクティオさんとして、こういうふうにしたくないといった強い意志がある場合に、西条市側から意見を伝える仕組みはあるか。

- 前谷社会教育課長 ・当然市民の方からの声があれば指定管理者の方に届けさせていただく。事業も常にアクティオさんお任せというわけではなく連携して進めていっている。
- 一色委員 ・同じアクティオさんでも総合文化会館と丹原文化会館で判断基準が異なることには問題はないか。
- 前谷社会教育課長 ・同じ会社がしているため、統括館長は総合文化会館に座っているが、両館管理ということをしている。
- 一色委員 ・中身も改善できる場所は多々あると思うので、吸い上げの仕組みづくりなど、間口を広げて頂くと利用しやすいという声がある。
・もう1点であるが、中学校の部活動における外部指導についてや、今後部活動がどういうふうになっていくのかという不安の声が、部活動をされている生徒の保護者から出ている。現在行われている部活動が今後も続くのかということと、外部指導をされる方と話し合いの場所があるのかということを知りたい。
- 黒河学校教育課指導主幹 ・部活動の存続についてであるが、県からはっきりとしたものが出ていないということもあり、市でも今年度中に1度は検討委員会をしないといけないと考えているが、令和5年度の4月からについては現在のままの部活動でスタートしようと考えている。地域移行も令和7年度までの今後3年間で進めていくことになっているので、色々な方と協議しながら進めていきたい。外部指導者との話し合いの件であるが、今現在指導してくださっている方とも話し合いをしていかないといけないと考えている。
- 一色委員 ・外部指導の方との話し合いの場所が学校の方で把握できている地域と、その競技でばらつきがあると思うが、すでに始まろうとしているコミュニティスクール制度などを活用して、活動熱心な地域はそういう方たちも入れるような仕組みがあるとより色々なところから活発になるのではないかという提案をさせていただくと、地域の方から要望があったのでお伝えさせていただきました。
- 鳳委員 ・先日コミュニティスクールの会に行っておりまして、学校運営委員会規則に運営委員さんの選定に関する人数など

具体的になかったと思うが、これからコミュニティスクールを立ち上げようとしている学校はそのあたりが難しく感じると思う。市外から来られている教頭先生や校長先生はまだまだ地域のことがわからないだろうが、その辺はあえて選定基準を設けていないのか。

黒河学校教育
課指導主幹

- ・基本的には学校長の推薦によるとしており、その方を教育委員会が任命するというようにしている。他市から来られている校長教頭は当然おり、今年度来年度から繋がりを作っていくことが大事であるので、地域との連携を図りながら選定していくように考えている。なお、人数は20人以下としている。

福田教育長職
務代理者

- ・要望であるが、現在私は地域コーディネーターをしている。どういうふうに進めていくかというのがそれぞれの地域コーディネーターの課題であり、悩みだと思うが、地域コーディネーターが集まっての交流というのも是非開催していただきたい。そしてコミュニティスクールに向けての色々な情報をいただきたいと思うので、また会を企画していただくようお願いしたい。

伊藤教育長

- ・ほかに意見等ないか問う

(意見なし)

- ・令和4年第14回教育委員会12月定例会を閉会する。

了

会議録署名委員

1 番委員

2 番委員